

『歴史について知っておくべき100のこと』

文/ローラ・コーワンほか 小学館

世界の歴史を学ぶ前に、ぜひ読んでみましょう。教科書にのっていない、あっとおどろく出来事や、エピソードを知ることができます。はば広い分野のざつ学がふえて、世界の歴史が楽しくなりますよ。



『まちのしくみ バックヤード絵ずかん』

編/こどもくらぶ 東京書籍

スーパーマーケットの売り場に、おそうざいや食品が並べられるまで、お店のうら側（バックヤード）で働く人たちは、どんな仕事をしているのでしょうか。ターミナル駅や動物園のバックヤードも見ることができます。



『科学のなぜ? ビジュアル新事典』

監修/川村 康文 編著/理科教育研究会 受験研究社



地球の自然とともに生きているわたしたち。わたしたちが生活していくうえで、理科はかかすことができません。地球のふしぎ、植物のふしぎ、からだのふしぎなど、身のまわりにある、ふしぎな理科を楽しく学ぶことができます。

☆きみも春から図書館デビュー!☆

◆図書館の使い方◆

- 図書館で本を借りるには、まず「図書館カード」を作ります。
 - 読みたい本が見つからないときは、図書館の人に聞いてください。
 - 貸出中の本は、「予約」をしてね。順番がきたらかりられるよ。
- 図書館で待っています!



下京 図書館だより 2019 はる

3年生
4年生

『文房具を使いこなす1書く道具』

編/WILL こども知育研究所 フレーベル館

えんぴつの達人になろう! えんぴつを上手に使いこなして、きれいな文字が書けるようになれば、モテることまちがちなし。えんぴつ以外の書く道具も、紹介されていて、文房具を使うことの楽しさがわかります。



『楽しいオーケストラ図鑑』

監修/東京フィルハーモニー交響楽団 小学館

オーケストラとは、弦楽器、管楽器、打楽器で組み立てられている大きな合奏団体のことです。オーケストラができるまで、たくさんの人たちが準備を進めています。「オーケストラの1日」を見てみましょう。



『名探偵コナンの10才までに覚えたい難しいことば1000』

原作/青山 剛昌 監修/戸谷 述夫 小学館

毎日の生活の中で出会う「ことば」。新しいことばに出会ったときは、そのことばの意味を理解し、実際に使うことで、語彙力を高めることができます。少し難しいと感じることばも、コナン君といっしょに学べば、楽しく覚えられますよ。



『なぜこうなった? あの絶景のひみつ』

文・構成/増田 明代 監修/山口 耕生 講談社

アラスカの夜空にあらわれる「オーロラ」、トルコにある、白いだんだん畑のような「パムッカレ」。世界で人々をみりょうする、これらの美しい風景は、どうやってできたのでしょうか。わたしたちが住んでいる地球は、おどろくべき自然のしくみで満たされているのです。



『がっこうのうた』

作/ねじめ正一 絵/いとうひろし 偕成社
 学校って、いろんなことがあるよね。
 毎日通っている学校のおもしろいこと、こんなことがあったらいいなと思うこと。そんなちょっと笑えるあれこれ、詩になったらもっと笑える。



『ハートウッドホテル1 ねずみのモナと秘密のドア』

作/ケイリー・ジョージ 絵/高橋和枝 童心社
 子ねずみのモナは、家族が残してくれたかばんだけを抱きしめひとりぼっちで森をさまよいます。大嵐の日にたどりついたのは、とても大きな木のなかにあるすてきなホテル。そこでメイドとしてはたらくことに。



『逆転! ドッジボール』

作/三輪裕子 絵/石山さやか あかね書房
 4年生の陽太は、ドッジボールが得意。だけど、いばりちらしてばかりの天敵、鉄平と健太と同じクラスになったことで、休み時間のドッジボールをやめてしまう。体は大きいのに気の弱い少年となかよくなった陽太は、あいかわらず勝手にふるまうふたりに、ドッジボール対決で立ち向かう!



『十年屋』

作/廣嶋玲子 絵/佐竹美保 静山社
 あなたには、絶対に失いたくない思い出のものはありますか?
 そう……ではここ、魔法使いのお店「十年屋」で大切にお預かりしましょう。
 壊れることも、古くなることも、誰かに奪われることもありません。ただし、そのかわりにあなたの寿命を1年いただきます。古風な店主としゃべるネコの執事がお迎えします。

『船乗りサッカレーの怖い話』

著/クリス・プリーストリー 訳/三辺律子 理論社
 ひどい嵐の夜、父親の外出中に兄妹の宿屋を訪ねてきたのは、ずぶぬれの青年。彼は嵐がやむまでの間、すばらしくてぞっとする話をいくつもふたりに聞かせる。彼が話すのは、船乗りたちのおそろしいけれど先が気になる物語ばかり。でも、どうやら彼自身にも秘密があるようで……?



『ギリシア神話 知っておきたい! 神様たちの物語』

文/加藤綾子 絵/Tobi 角川つばさ文庫
 ナルシスト、イカロスの翼、キューピッド、パンドラの箱……聞いたことあるよね? これはみんな、むかしむかしの神さまたちの物語、ギリシア神話からきている言葉なんだ。



『おとぎの“アリス”』

ぶん/ルイス・キャロル え/ジョン・テニエル やく/たかやま ひろし
 ある昼さがり、アリスは夢を見ました。とってもへんてこりんで、ふしぎで、おかしい夢なのです。どんなに奇妙かきみも聞きたい? それならこの本を開いてごらん。アリスと一緒に白うさぎを追いかければ、きみもすぐにふしぎの国へ行けるよ。



『つづきの図書館』

作/柏葉幸子 絵/山本容子 講談社
 読み手のわたしたちが、本の登場人物のその後を気にするように、登場人物だって読み手のその後を気にしているのです。いなかの図書館で、はたらきはじめて桃子さん。ひっそりした本棚の間から現れたのは……ええっ、はだかの王様!?
 「青田早苗ちゃんのつづきが知りたいんじゃ!」って、だれを探しているの? 桃子さんは、こちらの世界にぞくぞくやってくる、登場人物たちの人探しを助けることに。



下京図書館

〈場所〉
 下京区の新町通と松原通が交わるころを南に少しすすんでね。修徳公園の北側にあります!
 〈あいている時間〉
 月・水～金曜日
 午前9時半～午後7時半
 土・日曜日・祝日
 午前9時半～午後5時
 (火曜日はおやすみ!)

